

# パーキンソン病およびパーキンソン症候群における機能的要素を示唆する陽性徴候の頻度と臨床的関連:後方視的観察研究

この度、国立精神・神経医療研究センター病院総合内科に入院された患者様の一部の方の診療情報等について、下記研究で使用します。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

この研究課題に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

## 1. 対象となる方

2023年1月1日より2026年1月31日までの間に当院総合内科に入院されたパーキンソン病またはパーキンソン症候群と診断された18歳以上の患者様

## 2. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

該当なし

## 3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名:パーキンソン病およびパーキンソン症候群における機能的要素を示唆する陽性徴候の頻度と臨床的関連:後方視的観察研究

研究期間:研究開始日より2027年12月31日まで

研究代表者(研究責任者):国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 大平雅之

## 4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料:ありません

情報等:年齢、性別、診断・疾患名、発症年(または発症時期)、診断年、罹病期間、併存疾患、治療・薬剤情報、神経学的診察所見、臨床所見、臨床評価尺度:Hoehn & Yahr分類(on/offの別併記)、画像・生理検査所見結果、検査値(採血)

(取得方法) 診療録から入手

## 5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究では、パーキンソン病やパーキンソン症候群と診断された患者さんの診療の中で、診察時に見ら

れる身体の動きや筋力の特徴について、診療録に記載された情報をもとに後から分析を行います。これにより、機能的神経障害という別の病態で見られる特徴が診察で観察されていないか、このような所見がどのような患者さんに多く見られるのかを整理し、診療の質の向上につなげることを目的としています。本研究で利用する情報は、年齢や性別、診断名、診察所見、検査結果など、すでに通常の診療の中で得られている診療情報のみです。新たな検査や追加の診察をお願いすることはありません。また、血液や組織などの試料を新たに採取することはありません。

利用する診療情報については、研究の目的に必要な範囲に限定し、氏名や住所など、個人が特定される情報を削除したうえで解析を行います。情報は適切に管理され、研究担当者以外が閲覧できないよう十分な安全管理措置を講じます。

本研究で得られた結果は、学会発表や医学雑誌への論文掲載などの形で公表される可能性があります。その際にも、個人が特定されることはありません。

なお、本研究において、取得した情報を他の医療機関や研究機関へ提供することはありません。

## 6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

## 7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 臨床検査部 氏名 大平 雅之

電話番号 (042) 341-2711 e-mail:maohira※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)